

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子育て支援型の生鮮冷凍食品フードバンクと長丘こども食堂
事業主体 (連絡先)	信州こども食堂印SDGs プロジェクト 長野市南千歳 2-15-3 トミノビル 202 TEL.026-217-4233
事業区分	(2)保健、医療、福祉の充実
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,133,600 円 (うち支援金 : 2,506,000 円)

事業内容

子育て世帯及び片親世帯を中心とした貧困層及びその予備軍へ、生鮮冷凍食品を無償提供実施。

- ハブリックナカノにて、地域も学生も巻き込むフードドライブ 10 回、フードパントリーを 9 回開催。
- ハブリックナカノにて長丘こども食堂を新規開設し、9 回開催
- フードドライブなどで寄贈された保存性の高い食品や未開封商品、そして大型コンテナ冷凍冷蔵庫にて保管した冷凍冷蔵食品を、同エリアで活動するハッピーカムカムこども食堂、なっちょカフェ、岩船&高丘のこども食堂と、他エリアのこども食堂主催者への無料進呈
- 地域住民へフードドライブ&フードパントリーを毎月開催していることを告知し、助け合い活動の精神を促進。



【10/15 長丘こども食堂 (ハブリックナカノ)】

事業効果

フードドライブでは地域内外の個人・企業から 2.2 t の寄贈があり、ハブリックナカノで開催したフードパントリーには予定の 1.5 倍の 350 人が参加。その際に配布した食品や物品は約 900 k g。寄贈された食品類はの差分は他こども食堂へ配布したり、現在も保管している。長丘こども食堂へは、子どもから高齢者まで予定の 4 倍の 850 人が参加。

開催情報及び今後の活動を告知するために、折込チラシ 9 回 (42500 部) 配布+予備用紙などを使ったポスティング活動、Facebook 広告の実施などで、上記の結果を導けた。

- 【目標・ねらい】
- ① 生活困窮者に食品提供
 - ② 上記への生鮮冷凍食品を配布
 - ③ 住民企業団体の助け合い促進
 - ④ 同地域のこども食堂と連携

今後の取り組み

本来予定していた生鮮冷凍食品の寄贈量が少なく、高コストのコンテナ維持から、自費購入にて新設する大型冷凍冷蔵庫と冷凍ストッカー、さらに団体保有他エリアコンテナを活用へ変更し、本年度同様もしくはそれ以上の効果をあげられるよう努力します。

また、今年度から協力頂いている他こども食堂運営者が、他こども食堂へ配布しやすいように、設置場所も変更し、本年度以上の動きに進化を目指します。

長丘こども食堂は、今後も継続予定で、運営側のボランティアスタッフを地域内で追加する予定でいます。また食支援以上に、生活困窮者への支援が出来るように、他団体との協力連携で、活動進化をしていきます。

※自己評価【C】

フードドライブ&フードパントリーは予定通り開催。こども食堂は予定回数の 90%開催となった。また地域の特徴を活かした生鮮野菜の寄贈量が少なく、過去別エリアでの立ち上げ時と同じ結果となった。地域との連携は良く出来た。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある